

掲載日	配分機関名	事業名	対象分野	助成金額 及び 助成件数	公募期間 (締切日)	応募方法	備考
2026年10月16日	公益財団法人 サン トリー文化財団	2026年度若手研究者のた めのチャレンジ研究助成	人文学、社会科学の分野において、学問的な新しい地平を切り拓こうとす る、意欲ある若手研究者の支援を目的とする助成です。斬新な発想で取り組 む、大きな展望を持った研究であると同時に、学術的、社会的に広がりのある 研究を対象とします。専門領域からの飛躍を目指す若手研究者によるチャ レンジングな取り組みを応援します。	15件程度 1件当たり100万円	2026年11月4日（水） 23時59分（日本時間）	当財団のホー ムページ内、 研究助成ペー ジ (https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/) よりマイ ページを取得 しご申請くだ さい。	
		2026年度 海外出版助成	人文学、社会科学の分野において日本語で書かれたすぐれた研究業績、ある いは日本について書かれたもので、助成を受けることによって翻訳・出版の 道がひらかれる作品。 日本語以外であれば何語によるものでも構いません。 助成決定後2年以内に出版されるものに限ります。 申請の段階で、質的に高い翻訳および信頼しうる出版社との交渉・取り決め 等が保証されていることが前提です。	700万円 （毎年7～10件程度への助 成の合計）	2026年11月30日 （月）当日消印有効 郵送に限る	当財団のホー ムページ内に ある申請書を プリントアウトし郵送で応 募。	
2026年10月16日	全国健康保険協会	協会けんぽ委託研究事業	①医療費適正化 ・地域医療構想や医療費適正化計画の推進に資する研究課題とし、医療 提供側や国・地方自治体等の関係機関に対する意見発信等（事業提案 や政策提言）につながる、実用的な分析結果を具体的に提示してくだ さい。 ②健康づくり（健康寿命の延伸等） ・今般の健康保険法改正により、協会けんぽ加入者に対する予防・健康 づくりを推進するため、協会けんぽが保健事業に取り組む際の責務と して、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じたきめ細かい予 防・健康づくりを適切かつ有効に実施していくことが明確化されまし た。 ・これを踏まえた研究課題とし、加入者の特性に応じた傾向を把握し、 その成果を活用した具体的かつ実用的な事業提案、政策提言等につな がる、実用的な分析結果を具体的に提示してください。	1件：1500万円（1件あたり の上限）	2026年11月20日 （金） 12：00（正午）必着	窓口または郵 送 詳細は全国健 康保険協会HP	

2026年10月16日	公益財団法人　SBS 鎌田財団	2026年度　物流研究助成 制度	物流振興・発展に資する①学術研究　②研究集会、シンポジウム、セミナー等の開催を対象とします。 テーマー例 ・効率的で持続可能な物流システムの構築に関連するもの。 ・持続可能な物流ネットワークの構築に関連するもの。 ・労働環境整備・安全輸送・安定輸送・新たな労働力の確保など構造改革に関連する物 ・その他、これからの持続可能な社会構築における「物流」全般。	総額300万円 1件あたり限度額を50万円とします。	2026年11月30日 (月) まで	財団ホーム ページ内「助成WEB申請システム」から マイページに 登録しWEB申請	
2026年10月16日	公益財団法人　たば こ総合研究センター	2027年度　研究助成	(1) 嗜好品（たばこ等）、あるいは嗜好品に関連する産業や企業に関する歴史・文化等の研究 (2) 嗜好品（たばこ等）の摂取・利用が、人間の心理・行動・価値観・欲求・健康観・幸福感、あるいは社会に与える影響の研究 (3) 上記（1）、（2）以外の人文科学・社会科学の分野における嗜好品に関する研究。 〈例〉 ・喫煙による労働生産性への甲かについての研究 ・たばこに関する嗜む権利・自由をめぐる政治的・法的・倫理的研究 ・加熱式たばこに関する心理的・社会学的研究　　等	助成金額は1件につき原則として50万円、75万円、100万円または150万円とし、研究テーマ、研究方法等に応じて決定します。年間の助成総額は原則として500万円とします。	2026年12月1日（火） 郵送の場合は当日消印有効 電子メールの場合は当日必着とします。	所定の申請様式に必要事項を記入の上、郵送もしくはPDFファイルにしたうえで電子メールに添付して提出 E-mail： info@tasc.or.jp	

2026年10月16日	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所	2027年度大学協働利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 共同研究・研究会「NIG-JOINT」	(1) 共同研究 「共同研究」とは、本研究所の教員と他機関の研究者が特定の研究課題について本研究所の施設・設備を利用して共同で行う研究で、次の３種類に分けて募集を行います。 ①共同研究（A） ・対象は国内及び国外の研究機関等に所属する研究者とし、本研究所に在所して共同研究を実施するための旅費及び研究費（原則として所内で使用する消耗品費等）を支給します。 ② 共同研究（B） ・対象は国内及び国外の研究機関等に所属する研究者とし、本研究所に在所して共同研究を実施するための旅費及び研究費（原則として所内で使用する消耗品費等）を支給します。 ・共同研究者全体の延べ来所日数の合計が5日以上となるように計画・実施される必要があります。 ③国際共同研究 ・対象は国外の研究機関等に所属する研究者とし、本研究所に在所して共同研究を実施するための旅費及び研究費（原則として所内で使用する消耗品費等）を支給します。	①共同研究（A） 1件あたりの申請額は、旅費と研究費の合計で150千円を上限とします。ただし、研究費の上限は50千円とします。 ②共同研究（B） 1件あたりの申請額は、旅費と研究費の合計で700千円を上限とします。 採択件数は共同研究（A）に比して限られます。 ③国際共同研究 1件あたりの申請額は、旅費と研究費の合計で共同研究（A）の上限（200千円）を超える申請額で350千円を上限とします。ただし、研究費の上限は50千円とします。	2026年12月10日 （木）12時（日本時間 正午）	共同研究・共同研究高度化支援システム JROISより電子申請	
2026年10月16日	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所	2026年度大学協働利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 共同研究・研究会「NIG-JOINT」追加募集	共同研究 「共同研究」とは、本研究所の教員と他機関の研究者が特定の研究課題について本研究所の施設・設備を利用して共同で行う研究で今回、2026年度の共同研究（A）について、追加募集を行います。支給する旅費については、原則として所外の共同研究者が本研究所を訪問するためのものとなります。 共同研究（A） ・対象は国内及び国外の研究機関等に所属する研究者とし、本研究所に在所して共同研究を実施するための旅費及び研究費（原則として所内で使用する消耗品費等）を支給します。	1件あたりの申請額は、旅費と研究費の合計で100千円を上限とします。	2027年1月29日（金）	共同研究・共同研究高度化支援システム JROISより電子申請	

2026年09月08日	公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団	2027年度（第21期生）「YMFSスポーツチャレンジ（研究）助成	研究分野 世界にはばたく逞しい人材の育成を目的に、スポーツ医・科学やスポーツ文化など、スポーツに関わる幅広い学問分野で研究に取り組む方。 日本のスポーツの普及・振興や競技力向上につながる、自然科学・人文社会科学分野において、学術的価値の高い研究を志し、明確な目標を持って挑戦する方。	奨励①・・・1件に対し上限60万円（①と②合わせて5件程度） 奨励②・・・1件に対し上限80万円（①と②合わせて5件程度） ・基本・・・1件に対し上限120万円（10件程度）	令和8年10月30日（金） 12：00（正午）	財団WEBサイトにて電子申請	
2026年09月08日	公益財団法人 全国老人福祉施設協議会	令和9年度公募調査研究助成事業	研究テーマ ①介護人材確保に向けて、介護業界への就職者を増やすための方策に関する調査研究 ②利用者の重度化の伴う認知症ケアや看取り支援等のエビデンスに関する調査研究 ③介護現場の生産性向上に関する研究 ④老人福祉・介護事業における女性のキャリアアップに関する調査研究 ⑤地域共生社会に向けた老人福祉施設の役割・今後の展望に関する調査研究	原則として1事業あたり100万円以内	令和8年10月30日（金） 23時59分	ホームページより申請書をダウンロードし、メールにて送信。 js.03@roushikyo.or.jp	
2026年09月08日	公益財団法人 平和中島財団	2027年度 研究助成	国際学術研究 ・対象分野は特に限定しないが、学術的な組織で行われる研究が望ましい。 アジア地域重点学術研究 ・アジア地域（中近東、シベリア等を含む）に関するものであれば特に限定はしない。 （注）研究の対象がアジア地域に関するものでないものは、助成の対象とならない。	国際学術研究：1件につき500万円以内 12件 アジア地域重点学術研究：1件につき200万円以内 28件	2026年10月31日（土） （10月末日の消印有効）	申請書を財団ホームページよりダウンロードし作成郵送にて応募	